

国語科学習指導案

日 時 平成26年11月21日(金) 公開授業①
学 校 田野畑村立田野畑小学校
学 年 1年生 27名
場 所 1年生教室
指導者 木村 かおり

- 1 単元名 くらべてよもう
教材 「じどう車くらべ」 光村図書1年下

【単元で育てたい力】

- 文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと。(読エ)
- 時間的な順序や事柄の順序などを考えながら内容の大体を読むこと。(読イ)
- 語と語や文と文との続き方に注意しながらつながりのある文や文章を書くこと。(書ウ)

か
か
わ
り
あ
い

【単元を貫く言語活動】

おきにいのじどう車ずかん
をつくろう。

2 単元を貫く言語活動とその特徴

本単元を貫く言語活動として「自動車図鑑を作って友だちと交流する。」ことを位置づけた。この言語活動は、絵や写真と関係付けて図鑑を読み、自分のお気に入りの自動車の「しごと」「つくり」を説明する図鑑の1ページを書くものである。1ページの中には、お気に入りの自動車の絵を描き、さらに、文章を読んで見つけた「しごと」と「つくり」を書く。子どもたちは図鑑を読んで、たくさんの情報の中からすごいと感じる情報を選ぶことで、「C 読むこと」の指導事項「エ 文章の中の大事な言葉や文を書き抜くこと」を主体的にとらえて読むことができる。また、「しごと」や「つくり」を説明する文章を書くことで、「B 書くこと」の指導事項「ウ 語と語や文と文との続き方に注意しながらつながりのある文や文章を書くこと。」に迫ることができる。

3 単元について

(1) 児童について

児童はこれまでに、入学して初めて出会った説明文「くちばし」の学習を通して、挿絵と文を照らし合わせながら、書かれていることの大体を楽しんで読み取ることができた。また、説明文の基本的なパターンである「問い」と「答え」の文型も学ぶことができた。積極的に自分の考えを発表しようとする児童が多く、全体的に学習意欲は旺盛である。しかし自分の考えを発言することに満足し、友だちの意見を聞くという姿勢が十分に身につけていない。そのために、一人ひとりの考えが十分に深まったり、広がったりすることができていない。

書くことについては、想像した文を書いたり、自分の考えを書き表したりする活動は、基本文型をまねたり、吹き出しに短い言葉で書き表したりすることができるようになってきているが、書く速さについては個人差が大きい。

学級としては、全体的に明るく楽しい雰囲気があり、何事にも意欲的である。しかし、Q-Uの結果から、自分のことだけを考えて行動に出てしまう面も見られる。従って、今後の課題としては、友だちとの関わりの中で、自分の考えだけでなく、相手の考えをきちんと聞き、受け入れたり、認めたりする場を意図的に設定することが大切だと考える。

(2) 教材について

「じどう車くらべ」は、子どもたちのよく知っている自動車を題材にしているので、子どもたちが、興味・関心をもって主体的に読み進めていくことができる説明的な文章である。また、本教材は、四つの意

味段落からなり、第1段落で、話題と問題提示、第2～4段落では、3種類の自動車の「しごと」と「つくり」を同じ順序で繰り返し説明されている。そのため、子どもたちが、事柄の順序を考えながら読み進めるのに適した教材であるといえる。さらに、絵と文章で構成された本教材を通して、また、自分で情報を収集したり確かめたりする活動を通して、説明的文章を読むことの楽しさや物事を新しく知ることのうれしさに気付くことができると思われる教材でもある。

(3) 指導にあたって

指導にあたっては第一次で、教師が作成したお気に入りの自動車図鑑を児童に紹介し、自動車図鑑を作るという単元のゴールのイメージを持たせる。その際図鑑とは、「絵」と「その絵を説明する文章」で構成されていること、自分の好きな自動車を選んで図鑑を作ることを確認する。

第二次では、自動車の「しごと」と「つくり」を讀みの視点とし、「そのために」という言葉に着目させ、一つ一つの自動車の違いを讀み取らせる。さらに、図鑑に書かれている説明を学習することで、「しごと」と「つくり」という書き方でない場合での讀み取り方も理解させたい。

第三次では、図鑑から自分の好きな自動車を選んで自動車図鑑を作り、交流していく。自動車の絵本や図鑑を学校の図書館だけでなく、地域の図書館（はまなす号）とも連携をとって、たくさんの乗り物の本を用意して読ませたい。

4 単元の指導目標と評価規準

	目 標	評 価 規 準
国語への 関心・意欲・態度	自動車には、いろいろな種類があることに興味を持ち、どのような図鑑を作るかを考えることができる。	乗り物について書かれている本や図鑑から大好きな自動車を選び、「しごと」や「つくり」と思う情報を「自動車図鑑」の1ページに書いたり、友だちの作った図鑑を読んだりしようとしている。
読む能力	叙述をもとに、自動車には、「しごと」と「つくり」があることに気づき、書かれていることを理解することができる。	自動車についての文章を「しごと」や「つくり」などの事柄の順序に気を付けて読み、必要な情報を選び出している。
書く力	調べた自動車について、「しごと」と「つくり」を「そのために」等を使って書くことができる。	自分が選んだ自動車の特徴を、紹介文で表すために「自動車の名称→しごと→つくり」などの順序で文章の構成を考えている。
言語についての知識・理解・技能	意味のまとまりを意識して読むことができる。	カタカナで長音、拗音、促音を表記している。

5 単元の指導計画 (全12時間)

【指導過程】

【主な学習活動と習得させたい力】

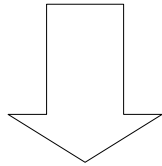
【単元を貫く言語活動】

第1次

○単元のねらいを知り、見通しを持つ。

【主な学習活動】

- ① 自動車図鑑を作る見通しを持つ。
教師が作成した「自動車図鑑」を紹介し、単元のねらいを知る。
・単元のゴールについて、どんなものを作りたいかお互いにペアで話し合う。【伝えあい】
- 【習得させたい力】
- 自動車にはいろいろな種類があることを知り、自動車図鑑を作る見通しを持つこと。

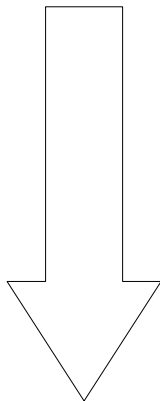


第2次

○それぞれのじどう車の「しごと」と「つくり」をとらえる。

【主な学習内容】

- ② 「じどう車くらべ」の「問い」から「しごと」「つくり」の関係をつかむ。
・自動車図鑑を開き、「しごと」と「つくり」が書いてあるかペアで話し合う。【伝えあい】
- ③ バスや乗用車の「しごと」と「つくり」を理解する。
・「しごと」と「つくり」にサイドラインを引き、話し合う。【認めあい】
- ④ トラックの「しごと」と「つくり」を理解する。
・「しごと」と「つくり」にサイドラインを引き、話し合う。【認めあい】
- ⑤ クレーン車の「しごと」と「つくり」を理解する。(本時)
・「しごと」と「つくり」にサイドラインを引き、話し合う。【認めあい】
- ⑥ はしご車の「しごと」と「つくり」を理解する。
・「しごと」と「つくり」にサイドラインを引き、話し合う。【認めあい】
- 【習得させたい力】
- それぞれの自動車の「しごと」と「つくり」を理解すること。



第3次

○好きな自動車の「しごと」と「つくり」を調べて、お気に入りの自動車図鑑を作る。

【主な学習内容】

- ⑦⑧ 自動車の絵本や図鑑から、書きたい自動車の情報を集める。
- ⑨⑩ 書きたい自動車を選んで、「しごと」と「つくり」を考えて図鑑を書く。
- ⑪⑫ 書いたものを交流する。
・自動車図鑑を紹介し、交流しあう。【認めあい】
- 【習得させたい力】
- 調べた自動車について、「しごと」と「つくり」を「そのために」を使って書くこと。
- 友だちの図鑑のよさを見つけること。

並
行
読
書

おきに
いりの
じどう
車ずか
んをつ
くろう

6 本時の目標 (5/12)

(1) ねらい

クレーン車の「しごと」と「つくり」を読み取ることができる。

(2) 本時における人とかかわりあう活動の視点

「つくり」について、サイドラインを引いたところをペア学習で相互にやりとりをする。その中で相手意識を持って伝えることで、何を伝えるかを明確にし、自信を持って全体の場で伝えられるようにしたい。

(3) 展開

段階	学 習 活 動	指導上の留意点 (手立て) 留意点○ 評価◎ かかわりあい【 】
導入 5分	1 前時までの学習を想起する。 2 学習課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; width: fit-content; margin: 5px auto;">クレーン車の「しごと」と「つくり」をまとめよう。</div>	○トラックの「しごと」と「つくり」について学習したことを想起させる。 ○「しごと」と「つくり」という観点で読み取っていくことを確認する。
展開 35分	3 学習課題を解決する。 (1)見通しを持つ。 (2)音読する。 (3)クレーン車の「しごと」について読み取る。 (4)クレーン車の「つくり」について読み取る。 〔ペア→全体〕 ・ どうしてクレーン車は、重いものをつり上げることができるのか考える。 4 ワークシートにまとめる。 ・ ワークシートにクレーン車の「しごと」と「つくり」をまとめる。 ・ 音読する。 5 自動車図鑑を読む。 ・ クレーン車等、掲載されている図鑑を読む。	○「しごと」と「つくり」を探す手がかりとなる言葉を確認する。 ○クレーン車の「しごと」と「つくり」は何かを考えながら音読する。 ○「そのために」に着目させて見つけさせたい。 ○見つけられない児童には、絵と文を照応させたり、「そのために」の既習を想起させたりして支援する。 伝えあい 「つくり」の文をクレーン車の「しごと」と関連して、ペア学習し、相手の考えを聞く。 認めあい お互いのサイドラインの箇所を確認し、認め合う。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px auto;">◎「しごと」と「つくり」を読み取り、クレーン車の文章の大事な言葉や文を書くことができる。 (発言、ワークシート) ◎他の自動車と比べた感想を持つことができる。 (発言)</div> ○音読することで、「しごと」「つくり」は接続語「そのために」でつながっていることを再度意識させる。 ○図鑑には、どのように書かれているか読み取る。 ・ 既習を活用して「しごと」と「つくり」が見つけれられるために、写真と文を照応させるように、働きかける。
終末 5分	6 本時の学習を振り返る。 7 次時の学習内容を確認する。	○はしご車の「しごと」と「つくり」をまとめることを確認する。

7 板書計画

じやう車へんしん

クレーン車の「じ」と「つくり」をまとめよう

教科書拡大

ワークシート拡大

クレーン車が掲載されている
図鑑の拡大